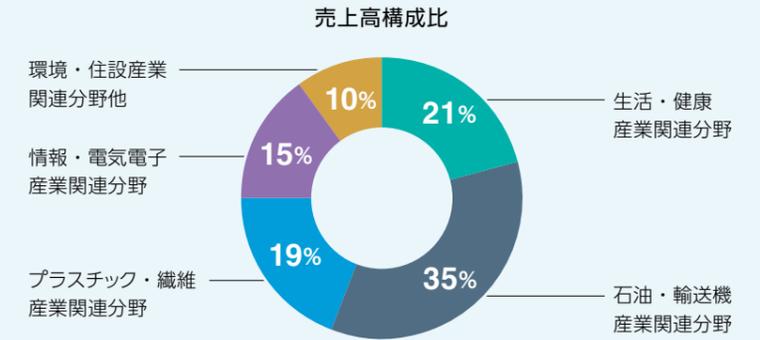


セグメント別概況

当期の売上高は、高吸水性樹脂事業（以降SAP事業）からの撤退などにより1,422億円（前期比10.8%減）となりました。利益面では、先端半導体分野の好調に加え高付加価値製品の拡販や構造改革による収益性改善などにより営業利益は84.3億円（前期比72.7%増）、経常利益は96.7億円（前期比18.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は出資金評価損や事業構造改革費用を計上したことにより41.5億円（前期は事業構造改革費用120.5億円の計上などにより85億円の損失）となりました。なお、上記事業構造改革に関する損失は、前連結会計年度から複数年度にわたり総額200億円を見込んでおりましたが、前連結会計年度に約120億円、当連結会計年度は三大雅精細化学品（南通）有限公司の減損損失を含め約12億円を計上しております。

売上高 **1,422億円**
営業利益 **84億円**



当期のセグメント概況



生活・健康

生活産業関連分野は、ポリエチレングリコールの市況が国内外ともに回復するなど、売上高は好調に推移しました。健康産業関連分野は、SAP事業からの撤退に伴い、売上高は大幅に減少しました。以上の結果、当セグメントの売上高は306億8千万円（前期比33.2%減）、営業利益は1億7千6百万円（前期は14億2千1百万円の営業損失）となりました。



石油・輸送機

石油産業関連分野は、潤滑油添加剤の需要回復により売上高は順調に推移しました。輸送機産業関連分野は、自動車生産台数が横ばいの中、自動車シートなどに使用される国内向けのポリウレタンフォーム用原料が海外安価品の流入により低調になったことに加え、海外向け自動車内装表皮材用ウレタンビーズも減少したため、売上高は低調となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は492億3千2百万円（前期比2.5%減）、営業利益は39億7千9百万円（前期比41.2%増）となりました。



プラスチック・繊維

プラスチック産業関連分野は、永久帯電防止剤の需要回復により売り上げを伸ばし、塗料コーティング用薬剤・添加剤も堅調に推移したため、売上高は好調に推移しました。繊維産業関連分野は、タイヤコード糸等の製造時に使用される油剤が中国の需要回復に伴い大幅に増加したことに加え、風力発電用風車向けの炭素繊維用薬剤も復調したものの、合成皮革用薬剤が低調に推移し、売上高は横ばいとなりました。以上の結果、当セグメントの売上高は268億3千9百万円（前期比6.4%増）、営業利益は28億6千7百万円（前期比21.1%増）となりました。



情報・電気電子

情報産業関連分野は、トナーバインダーの需要が回復傾向にある一方で、重合トナー用材料が中国での生産事業からの撤退等により低調となり、売上高は大きく減少しました。電気電子産業関連分野は、アルミ電解コンデンサ用電解液がEV市場の回復遅れにより低調に推移しましたが、先端半導体市場が堅調に推移したことにより関連材料が売り上げを伸ばし、売上高は増加しました。以上の結果、当セグメントの売上高は209億1千1百万円（前期比8.6%減）、営業利益は25億3千2百万円（前期比38.3%増）となりました。



環境・住設

環境産業関連分野は、高分子凝集剤用のカチオンモノマーが国内市況の低迷により低調に推移しました。住設産業関連分野は、セメント用薬剤が需要低迷により低調でしたが、家具・断熱剤などに用いられるポリウレタンフォーム用原料の販売が回復したため、売上高は横ばいとなりました。以上の結果、当セグメントの売上高は145億9千4百万円（前期比2.9%減）、営業利益は4百万円（前期比99.2%減）となりました。

売上高／セグメント営業利益



主要製品

高付加価値製品群：医薬品原料
基盤製品群：洗剤・洗浄剤用界面活性剤、ヘアケア製品用界面活性剤、製紙用薬剤、殺菌消毒剤、外科用止血材、EIA（酵素免疫測定法）用臨床検査薬、人工腎臓用ポッティング材

高付加価値製品群：潤滑油添加剤
基盤製品群：自動車内装表皮材用ウレタンビーズ(TUB)、ポリウレタンフォーム用原料(PPG)、燃料油添加剤、水溶性切削油、非ハロゲン系洗浄剤、合成潤滑油ベース、デザインモデル製作用盛り付け樹脂、自動車塗料用樹脂

高付加価値製品群：永久帯電防止剤、炭素繊維用薬剤
基盤製品群：顔料分散剤、樹脂改質剤、塗料用樹脂、消泡剤、ポリウレタンエラストマー原料、モデル製作用合成木材、繊維製造用薬剤、ガラス繊維用薬剤、人工皮革・合成皮革用ウレタン樹脂

高付加価値製品群：アルミ電解コンデンサ用電解液
基盤製品群：重合トナー用材料、トナーバインダー、電子材料用粘着剤、電子部品製造工程用薬剤、UV・EB硬化樹脂

基盤製品群：廃水処理用高分子凝集剤、カチオンモノマー、家具・断熱材用PPG、泥水用薬剤、反応性ホットメルト接着剤、建築シーラント用原料、セメント用薬剤

(注) 各報告セグメントの営業利益は各セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費を含まずに算出しています。